

ピコ  
PICO◇ 創傷治療システムを  
お使いいただいている  
患者さまへ



# 安全で効果的な治療のために ご理解いただきたいこと

## 目次

---

### ① PICO<sup>◇</sup>とは？

---

### ② PICO の装着方法

---

### ③ PICO が作動しているかどうか、 どうやって確認するの？

---

### ④ Q&A (よくあるご質問)

---

### ⑤ こんな時は病院に行きましょう

---

## 注意事項

# 1 PICO<sup>◇</sup>とは？

ピ コ  
**PICO** は吸引によって余分な滲出液を除去し、  
しんしゅつえき  
創傷の治りを早める局所陰圧閉鎖療法を  
きょくしょいんあつへいさりようほう  
行うための医療機器です。

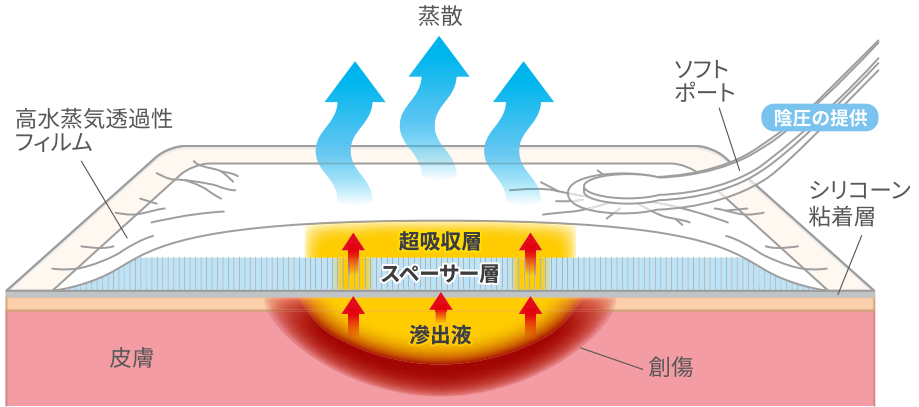
また、あなたの創傷を汚染から保護することにより  
最終的に創傷の治りを早めます。





## 局所陰圧閉鎖療法の効果

創傷に有害な老廃物や細菌を含む<sup>しんしゅつえき</sup>滲出液(キズから染み出てくる液体)を取り除きます。また、陰圧の刺激を受けた細胞が血流を増やし創傷の治りを早めます。



PICO◇ 本体から提供された陰圧は、さらにドレッシングを通じて、創傷へ提供されます。スペーサー層が陰圧提供時でも形状を維持するため、創全体に一定の圧提供を可能にします。また超吸収層が滲出液を吸収保持し、高水蒸気透過性フィルムによって滲出液を蒸散するので、ドレッシングで管理ができます。



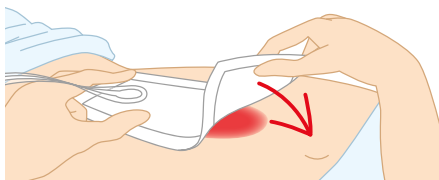
## 局所陰圧閉鎖療法の方法

創傷サイズより大きなドレッシングを選び、創傷に貼り、接続チューブとPICO 本体を接続し、陰圧状態を保ちます。

## 2 PICO<sup>◇</sup>の装着方法

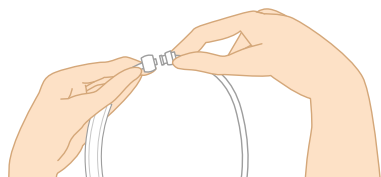
### 1. 創傷にドレッシングを適切に貼付します。

[本操作は医療従事者(医療スタッフ)のみが行います。]



### 2. ソフトポートと延長チューブのコネクターをつなげます。

(開封後はソフトポートと延長チューブはつながっている状態です。)



### 3. 接続チューブをPICO 本体につなげます。



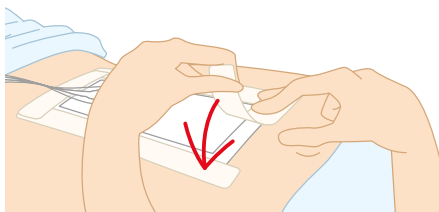
### 4. PICO のスイッチ (オレンジボタン) を押すとドレッシングに陰圧がかかり治療が開始されます。

※その際少しドレッシングが縮み、陰圧がかかったことを確認します。



### 5. ドレッシングの四辺を付属の固定フィルムで止め、皮膚へしっかりと馴染ませます。

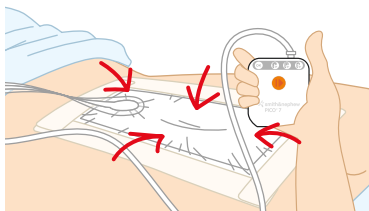
[本操作は医療従事者(医療スタッフ)のみが行います。]



### 3 PICO<sup>o</sup> が作動しているかどうか、

PICO が正常に作動している間はPICO 本体にあるOKマークのライトが緑に点滅いたします。

作動後陰圧が提供されている間は、ドレッシングに少ししわが入ります。



### 新しいPICO 本体はいつ交換？

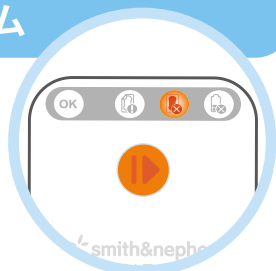
ドレッシングは滲出液の量によって通常3～4日間で交換されますが、PICO 本体自体は7日間使用できます。そのため7日間使用後に交換します。7日間使用すると、PICO 本体は自動的に使用できなくなりますので注意してください。



7日間使用後このように全てのライトは消滅します。

### アラーム3：ドレッシング交換アラーム

ドレッシングのポート部分まで滲出液が染み出しフィルターがブロックされた場合、ドレッシング交換ライトが点滅してアラームを知らせます。点滅した際、陰圧維持管理装置は1時間後に自動的に治療を再開しようとしていますが、医師、看護師にお伝えし指示に従ってください。



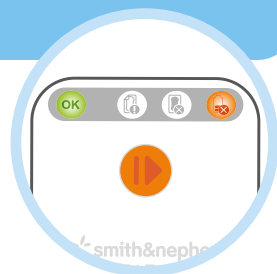
ドレッシングの交換は医療従事者（医療スタッフ）が行います。

# どうやって確認するの？

## アラーム 1：バッテリー低下アラーム

緑のOKライト及びオレンジの「低バッテリー」ライトが点滅する場合、システムは適切に機能しているが、低いバッテリー状態であることを示しています。

その際は電池の交換をお勧めいたします。電池交換は一度オレンジボタンを押して、一時停止させてください。バッテリーカバーをはずし、単三アルカリ電池2本を取り替えてください。カバーを閉め、再度オレンジボタンを押して再作動します。



電池交換が必要な場合緑のOKライトとオレンジの低バッテリーライトが点滅します。

## アラーム 2：低陰圧アラーム(空気もれ)

もし低陰圧(リーク)になると、低陰圧マークがオレンジに点滅してアラームを知らせます。また低陰圧(リーク)の際はPICO 本体が空気を吸引をしようとするために作動音が聞こえます。この場合、ドレッシングは滲出液を吸収しますが、局所陰圧閉鎖療法としての効果はありません。

対処法は、手でドレッシングを皮膚へしっかり馴染ませてください。オレンジボタンを押し、治療を再開させます。緑のOKマークが点滅すると、治療が再開していることを示しています。しかし1分ほど経ってから、低陰圧(リーク)ライトが再び点滅したら、吸引がまだ正常に行われていません。同様の対処を行い、1分後に、緑のライトだけが点滅を続けているとリークは解消されています。

低陰圧アラームである、オレンジのライトが点滅を続けるようでしたら看護師、または医師にお伝えください。



陰圧が適切にかかっていない場合オレンジの低陰圧(リーク)アラームが点滅します。

※低陰圧(リーク)とは、密閉がどこからか損われ、空気もれている状態のことをいいます。

## 4 Q & A

PICO<sup>◇</sup> 装着中によくある質問にお答えします。

### Q. 陰圧は、1日中かけ続けるのですか？

A. 定期的にドレッシングを交換するときや、検査・シャワー浴などを除いて、治療が終わるまで継続して陰圧をかけます。



### Q. アラームが点滅したらどうしたらいいのですか？

A. アラームの場合は、5～6ページのアラームガイドを参考にし、改善しない場合は医療従事者（医療スタッフ）にお知らせください。

※アラームは点滅するだけで、音はなりません。



### Q. 創傷に痛みや不快感があったらどうしたらいいですか？

A. 創傷に陰圧がかかると、少し引っぱられるような感覚があります。もし痛みや不快感を感じたら、我慢せずに医療従事者（医療スタッフ）にご相談ください。



## Q. PICO<sup>◇</sup> 本体の向きや位置はどうしたらいいですか？

**A.** 患者さまの状態や創傷の状態により先生が判断します。基本的にPICO 本体は逆さにしても、問題はありません。就寝時など適切にご使用頂けるよう医療従事者（医療スタッフ）の指示に従ってください。

---

## Q. 治療中は動き回って大丈夫ですか？

**A.** 動き回ることは可能です。ただし、あなたの担当の先生からの説明を守った範囲で行動してください。  
また、動いている最中、PICO 本体とドレッシングをつないでいる接続チューブをどこかに引っ掛けてしまったり、足で踏んでしまう可能性もあります。チューブを引っ掛けたり踏んでしまわないよう、注意してください。

---

## Q. PICO ドレッシングはいつ交換するのですか？

**A.** ドレッシング1枚は最長で7日間継続使用できますが、滲出液の量に合わせて交換します。通常は3～4日間で交換されることが多いです。[ドレッシングの交換は医療従事者（医療スタッフ）が行います。]

## Q. お風呂の時はどうしたらいいの？

**A. PICO<sup>◇</sup> を使用している間は浴槽につかることは出来ません。  
お風呂に入る時は、シャワーのみにしてください。**

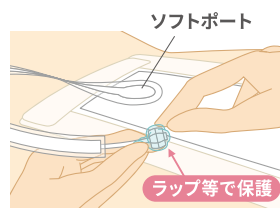
ドレッシングは防水性です。直接シャワー水がかかったり、ずぶ濡れにならない限り、ドレッシングを貼付したままシャワーができます。ドレッシングが水浸しになってしまうと、剥がれ落ちる原因となりますので、お風呂に入る時は気をつけてください。

- ① オレンジボタンを押し、陰圧を止める。
- ② コネクター部分をねじり、PICO 本体からドレッシングにつながっている接続チューブを外す。

**注意！ PICO 本体は絶対に浴室に持っていかないようにしてください。**

- ③ 外した接続チューブの端は、水から離し、チューブに水が入らないように、下向きであることを確認する。

※PICO 本体を外した際は、水が入らないように、接続チューブの端をラップなどで包んでください。またドレッシングも水浸しにならないようにラップなどで一時的に保護してください。



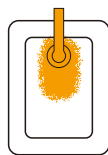
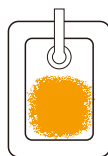
- ④ お風呂から出た時、ドレッシングが濡れている場合は、乾いたタオルなどで水気を拭く。  
PICO 本体と接続チューブのコネクターを再度繋ぎ、オレンジボタンを押してドレッシングへの陰圧提供を再開する。

## 5 こんな時は病院に行きましょう

ドレッシング交換やPICO<sup>◇</sup> 本体交換のため、あなたの担当の先生が指示したとおり、病院に来てください。

以下の事項にあてはまったら、病院で適切な処置が必要となります。  
すみやかに病院に連絡し、指示に従ってください。

- PICO 本体の機能が停止してしまった場合  
(電池を交換しても再稼働しない時)
  - 低陰圧の表示灯が点滅したので6ページの手順に従い対応したが表示灯の点滅が改善しない場合
  - あなたの創傷に以下の症状がある時
    - ・創傷に熱を感じる
    - ・痛みが強くなった
    - ・創傷の周りが赤くなった(腫れてきた)
    - ・悪臭がする
    - ・出血している  
(ドレッシングが赤く染みてきた)
  - 発熱がある
- PICO 本体に何か不良が起きた時(器械が壊れた時)
  - ドレッシングが剥がれてしまった時やドレッシングの縁まで<sup>しんじゅつえき</sup> 滲出液が染み出てきた時
  - ポート部分に滲出液が染み出てきた時
  - ドレッシング交換アラームが点滅した時



また、上記以外のことで何か気になったことや、使用中にPICO 創傷治療システムの調子がおかしくなったなどありましたら、病院訪問時にあなたの担当の先生に伝えてください。

### [ 磁石の内蔵による併用注意 ]

PICO陰圧維持管理装置は磁石を内蔵しているため、併用機器の故障の可能性があります。



#### 措置方法

ペースメーカー、除細動器、シャントバルブ、神経刺激装置、人工内耳等の埋め込み型装置、インシュリンポンプ等の生命維持管理装置を併用する場合、陰圧維持管理装置から10cm以上離してください。

# MEMO

製造販売元

**スミス・アンド・ネフュー株式会社**  
**ウインドマネジメント事業部**

〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目4番1号  
TEL.03-5403-8830

<http://www.smith-nephew.com/japan/>

◊Trademark of Smith+Nephew  
© 2015-2021 Smith+Nephew

連絡先(施設名及び電話番号)

.....  
担当医師または医療スタッフ名

PC-3  
202104-5